

2020年9月26日

各法人・事業所責任者殿

京都民主医療機関連合会  
会長 河本 一成  
第14回京都民医連学術運動交流集会  
実行委員長 中川裕美子

## 第14回学術運動交流集会 開催要項

### 開催にあたって

第14回学術運動交流集会の開催をご案内します。今回は新型コロナウイルス感染防止のため、会場に集まっての開催は取りやめました。WEBを使った取り組みとします。

私たちは全日本民医連第44回定期総会および京都民医連第60回定期総会で、全国的に新型コロナウイルス感染症が拡大する中、綱領改定10年のあゆみを確信に、「医療・介護活動の2つの柱」( 貧困と格差に、超高齢化社会に立ち向かう無差別・平等の医療・介護活動の実践、安全、倫理、共同のいとなみを軸とする総合的な医療と介護の質の向上)を深化させ、医師確保と経営改善で必ず前進を勝ちとることを確認しました。

今回の学術運動交流集会ではそのことを踏まえ、メインテーマを「コロナ禍で見えた社会保障の脆弱さ！命・憲法・綱領の視点で医療介護活動の2つの柱を深化させよう」と致しました。学術運動交流集会を2年間のこれまでの京都民医連での医療・介護の質の向上の取り組みを集約・発表し、確信にする場にしたいと考えています。

分科会企画は各部が主体となって企画運営を行う「各部企画」をZOOMを活用し、開催します。これは各部の専門知識や実践経験、または問題意識をより幅広く共有し、京都民医連の事業・運動の広がり と 質的向上の機会とすることを趣旨としています。

演題発表については、WEBによる発表とします。

2年に1回の学術運動交流集会は、京都民医連の多彩な事業活動・運動の集約点でもあります。全体の取り組みを共有し、事業の質向上、命と暮らしを守る運動の前進にむけて大いに交流し、学ぶ場にしましょう。各事業所で積極的にご検討いただき、多くの演題応募と参加をよろしくお願ひします。

### 学術運動交流集会の概要

開催日時：各部企画 2021年2月23日(火・休) 13時から18時(予定)

演題発表 2021年2月24日(水)から1ヶ月間

場 所：WEBによる開催

参加規模：700名程度

参加対象者：民医連職員及び共同組織、医系学生の方々

集会のメインテーマ

「コロナ禍で見えた社会保障の脆弱さ！命・憲法・綱領の視点で医療介護活動の2つの柱を深化させよう」  
プログラムについては、各部企画内容等勘案し調整でき次第お知らせします。

### 演題募集の概要

募集演題と選考について

演題の発表形式は、WEBでの発表とさせていただきます。応募頂いた演題は実行委員会で選考致します。

応募締切

応募は、所定の抄録用紙の提出をもって受け付けます。**12月7日(月)** 締切で、期日厳守してください。抄録作成は、下記 . . . に注意して作成して下さい。

## 演題採用

採用者には確定しだい実行委員会より連絡を致します。発表準備の諸注意はその際に連絡致します。

## 演題募集テーマ

演題募集は、メインテーマ「コロナ禍で見た社会保障の脆弱さ！命・憲法・綱領の視点で医療介護活動の2つの柱を深化させよう」に関連して自由に応募してください。なお、抄録用紙には下記の演題テーマの番号（1～6）をご記入下さい。

	演題テーマ	具体的なテーマの例
1	医療・介護の安全と質の向上	医療安全、感染対策、チーム医療、倫理、医科・歯科や医療・介護、他事業所や行政等の連携、相互点検、
2	様々な分野の医療・介護活動	病棟医療、外来医療、救急医療、在宅医療、リハビリテーション、歯科医療、診療所のとりくみ、薬剤・薬局のとりくみ、介護・福祉のとりくみ、高齢者医療、小児医療、被災医療、災害医療、
3	社保運動、反核平和活動	生存権や受療権を守るたたかい、無料低額診療のとりくみ、貧困問題、米軍基地撤去のたたかい、憲法を守るたたかい、戦争体験聞き取り、原発ゼロの運動や避難者支援、環境問題、薬害、
4	まちづくり・共同組織活動	H P H、保健予防活動、労災職業病、地域包括ケア、相談活動、講師活動、共同組織の質や量を発展させるとりくみ、居場所づくり、担い手づくり、
5	職員育成、職場づくり、後継者確保と養成	各職種の人材確保、ナースウエーブや介護ウエーブ、職員養成、ジャンボリー、平和塾、職員の健康づくり、ハラスメント対策、
6	民主的な管理運営、経営	診療・介護報酬改悪へのたたかいと対応、ポジショニングや中長期計画、全職員参加型の経営、民主的な管理運営のとりくみ、未収金管理、統一会計基準の徹底、返戻減点対策、電子カルテ

## 抄録作成にあたっての諸注意

抄録用紙は、添付しています「Word形式」のファイルをご利用下さい。文字サイズや書式の設定は変更しないで下さい。京都市民医連ホームページ等WEBサイトからのダウンロードも準備します。

発表要旨を抄録として、全角 800 字以内（厳守）で記入下さい。内容がよくわかるように、見出しを付けて、簡潔に記入して下さい。図表の使用は避けてください。

（ex . 「はじめに」 「方法」 「結果」 「考察」 「まとめ」）

演題名・発表者・共同研究者・事業所名・所属部署・キーワード、倫理的配慮、利益相反等、抄録用紙にある項目は、全て記入して下さい。希望される発表形式があれば指定部分に記載してください。

作成した抄録原稿は、12月7日（月）17：00までにメールで送付してください。

メールのあて先 [gaku14@kyoto-min-iren.org](mailto:gaku14@kyoto-min-iren.org)

メールの題名は「第14回学運交応募・(氏名)」としてください。

紙媒体での提出は、受け付けません。ご不明な点・お困りの点等ありましたら、お気軽に京都市民医連事務局（佐々木、塩見）までご相談下さい。

人を対象とした研究・調査は倫理的配慮の審査内容を文中に記載してください。

利益相反の有無について自己申告してください。有りの場合はその内容を提出してください。

## 当日の発表について

従前は集合して、口演、ポスターセッションに会場を分け、発表いただいていたが、今回はWEBでの開催になります。パワーポイント等で作成いただいたスライドに音声が付加して演者が動画に変換して実行委員会事務局に送っていただきます。この動画を2月23日以降1ヶ月間、県連WEB職員のページにアップロードします。

発表時間は6分以内とします。

質疑応答の方法については後日、あらためてお知らせします。

### 実行委員会体制について

中川裕美子（実行委員長）、豊田明子（医師部）、鴨川聡子（看護部）、奥田有希（歯科部）、白波瀬実（介護福祉部）、小林知佐（薬剤部）、若田哲史（リハ部）、岩村満（経営部）、澤瀬美喜夫（育成部）、小竹正彦（府民運動・政策部）、宮村真弘（共同組織部）、塩見好朗（事務局）、佐々木恵林（事務局）、西村淳子（事務局）、高橋豊（事務局）

以上